

おおづまち議会だより OZU

2025
112号

今月の定例会は

12月

3月

9月

6月

本会議動画配信
配信中



議会だよりが
読めるアプリ

マチイロ



大津小学校6年生 出前講座で議会を学ぶ (P19に記事)

常任委員会の構成が決まりました



総務常任委員会

(委員長) 時松 智弘
(副委員長) 村山 龍一
(委員) 田代 元気
大塚 勝二
中山 直之

経済建設常任委員会

(委員長) 大村 裕一郎
(副委員長) 大塚 益雄
(委員) 豊瀬 和久
三宮 美香
西川 秀貢



文教厚生常任委員会

(委員長) 山本 富二夫
(副委員長) 佐藤 真二
(委員) 山部 良二
清原 さおり
岩下 啓史



皆さま よろしくお願いたします。

※左上の番号は、議席番号になります。

1 若い力で住民の暮らしを自然を守ります 岩下 啓史 文教厚生常任委員会 ☎080-6415-5078 / 吹田	2 子どもが輝けば、地域が輝く 中山 直之 総務常任委員会 広報編集特別委員会 ☎070-8314-9958 / 岩坂	3 公共・地域協働 日本の町へ 清原 さおり 文教厚生常任委員会 広報編集特別委員会(副委員長) ☎090-9576-9824 / 美咲野	4 むしゃんよか 大津町にします 大塚 勝二 総務常任委員会 ☎090-4988-3972 / 室
5 強い大津町を創るには前運あるのみ 村山 龍一 議会運営委員会(副委員長) 総務常任委員会(副委員長) 広報編集特別委員会 ☎090-1340-7892 / 矢護川	6 大津町の未来とともに 大村 裕一郎 議会運営委員会 経済建設常任委員会(委員長) 広報編集特別委員会(委員長) ☎080-9054-1958 / 矢護川	7 情熱と誠意で将来に責任あるまちづくりを実現します 田代 元気 総務常任委員会 ☎096-221-8104 / 吹田	8 経緯と実行力で「大津安心安全の創造」 時松 智弘 議会運営委員会 総務常任委員会(委員長) ☎090-1517-1724 / 美咲野
9 一心不乱 西川 秀貢 経済建設常任委員会 ☎096-340-3685 / 引水	10 町民の声を大切に将来の町づくりを 大塚 益雄 議会運営委員会 経済建設常任委員会(副委員長) ☎090-9726-2002 / 大津	11 大津町に住んで良かったと思える人を増やしたい 三宮 美香 副議長 経済建設常任委員会 広報編集特別委員会 ☎080-5209-8950 / 大津	12 物価高対策を全力で行います 山部 良二 文教厚生常任委員会 ☎096-202-4734 / 美咲野
13 町民の声を町執行部に届けます 山本 富二夫 議会運営委員会 文教厚生常任委員会(委員長) ☎090-2715-2818 / 外牧	14 「小さな声を聴く力」を発揮して動きます 豊瀬 和久 経済建設常任委員会 監査委員 ☎090-7462-2676 / 杉水	15 町政を感しく見つめる目 佐藤 真二 議会運営委員会(委員長) 文教厚生常任委員会(副委員長) ☎090-4582-4491 / 大津	16 ビックなチャンスを見逃さない 坂本 典光 議長 ☎096-293-2091 / 大津

議員の賛否を公開します

上程された議案・概要	坂本 典光	峯下 啓史	中山 直之	清原 さおり	大塚 勝二	村山 龍一	大橋 一郎	田代 元気	時松 智弘	西川 秀貢	大塚 益雄	三宮 美香	山部 良二	山本 富二夫	豊瀬 和久	佐藤 真二	賛成 ○	反対 ●
土地の取得について	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	14	0
令和7年度大津町工業団地整備事業特別会計 補正予算	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	14	0

※議長は議事進行を行うため賛否表明はしません。賛否の分かれた議案のみ掲載しています。

■賛否表 ○は(賛成) ●は(反対) 棄は(棄権) 欠は(欠席)

その他の議案については議会ホームページをご覧ください。

大津町議会

検索



本会議動画配信



議員の視点

(本会議での質疑の一部を抜粋して掲載しています)

 山部 良二 議員	問 町民が台風など災害時に、町内のホテルへ避難される場合や大規模災害の際、近隣市町村の人が町内のホテルを利用する際にも宿泊税を徴収するのか。また、学校行事などで宿泊する児童・生徒・学生から同じように宿泊税を徴収するのか。	答 学校行事や避難所として活用した場合の宿泊税については、先進地事例も参考にしながら慎重に検討していく。
 豊瀬 和久 議員	問 医療費抑制のためには、医療データや健康データの取得・分析と、その結果に基づいた適切な施策を実施すべきではないか。	答 施策にあたっては、データ分析は大変重要だと思っているので、どのようなやり方が良いのか検討し必要に応じて予算化していきたい。
 西川 秀貢 議員	問 子育て応援商品券は、価格高騰の影響が大きい妊婦や子育て世代の負担軽減のためであるが、利用を町内限定とすることで、町内事業者の経済支援にもつながると思う。目的と効果まで説明しないと町の姿勢、思いが伝わらない。	答 この事業を策定する際、物価高騰などで苦しむ子育て世代の支援を週し、町内の事業者にもメリットがある施策をしたいと町の思いがあった。町内限定にしたことで、経済対策も含め、その気持ちはしっかりもっている。
 大塚 益雄 議員	問 体育館空調設備導入で、災害時あるいは停電時と使用可能なフル稼働で72時間、3日間は大丈夫という事であるが、想定外も考えられる。例えば、4日以上電気が復旧しない場合、町はどう考えているのか。	答 72時間を設計の基準としている。これは、災害発生後、72時間で国や地方自治体の支援が本格的に始まる時間での設定である。また、ガスの供給は町内の供給事業者で可能であると考えている。
 田代 元気 議員	問 大津小学校増築棟検討設計業務について、灰塚や新地区など遠距離通学をしている児童もいることから、南小の建て替えと並行し校区の見直しも行っていくべきではないか。	答 校区の見直しについて、これまで町として主体的に動いた事業はないが、今後、必要な事項だと考えている。町長、教育長とも相談し方向性を決めていきたい。
 大塚 勝二 議員	問 町で使っている健康測定器(インボディ)は正確なデータが取れなくなった機械である。その成果を医療の専門家を通じて町民の健康づくりを評価し、今後の健康づくり事業に活かす予定はあるのか。	答 専門的見地を取り入れて、健康づくり事業の評価などをする中で検討課題の中に取り入れて活かしていく。
 時松 智弘 議員	問 大津小学校の学童保育施設の周辺をかさ上げし、雨水時の冠水を緩和するとの説明だが、かさ上げた水はグラウンドに流れる。学校からも結構改善の声を聞く。グラウンドの冠水改善を学童の施設のみならずできないものか。	答 職員が、すべての学校を回って施設の点検を行う予定であり、グラウンドの件も含め、その時に詳しく話を聞く。
 山本 富二夫 議員	問 防災設備倉庫内に常時数量確認を行うために整理棚を設置するという事だが、倉庫を最大限利用するためには、多段階の整理棚が必要だ。将来的にはフォークリフトの導入を考えるべきだ。	答 備品棚の購入は現在、入っている備品の数量や大きさなどに応じた備品棚の購入数を考えている。フォークリフトについて、現在考えていない。しかし、使いやすいのであれば検討する。
 村山 龍一 議員	問 県営事業負担金の矢護川地区の838万円のほじょう 園地整備の内容はどうなっているのか。	答 園地整備事業の工事費や調査調整に係る事務費などの負担金と工事期間の休耕補助金で、矢護川の上中地区、約7ヘクタールで工事を実施予定。稲刈りが終わってから来年の田植の前までには終わらせる予定になっている。
 佐藤 真二 議員	問 JAの人参選果場への補助金は、菊陽町より大津町の補助割合が低い。大津町の人参生産量が増加してきている中で、将来、町の生産者が不利になることはないのか。	答 負担割合は菊陽町・JAと協議を重ねた結果であり、今後、不利になることはない。

令和7年度補正予算が成立しました

6月定例会は、6月4日から13日の10日間の会期で開催され、町長提案の一般会計をはじめとする議案8件、最終日に追加された議案2件の

計10件が審議され、可決されました。

また、一般会計では約27億円が増額補正され
合計185億9539万6千円となりました。

主な内容

子育てを応援

- ・学童保育施設補修工事
- ・子育て世帯訪問支援事業委託
- ・子育て応援商品券事業

603万円
74万円
3907万円

高齢者福祉を充実

- ・ユニバーサルデザインe-スポーツ事業
- ・一般介護予防教室業務委託(健康まる塾)〈介護保険〉

44万円
43万円

運動の習慣化を推進

- ・健康推進事業委託(トレーニングジム個別指導)

26万円

観光を推進

- ・岩戸溪谷遊歩道復旧工事追加測量設計業務委託

400万円

今回の予算は肉付け予算となります。上に挙げた予算以外にも様々な事業予算が上程され可決となりました。

議 場
ASSEMBLY HALL

くらしと産業の土台を創る 経済建設常任委員会

大津町の パワースポットをPR



● 鳥獣などの危険の心配があり利用できないと心配の声がある。今後の活用をどう考えているのか。

● 鳥獣対策を含め検討を進めていきたい。

高尾野森林公園の活用はどうなっているのか

● 完成までのスケジュールと構造は。また、岩戸神社や周辺を含めた利活用は。

● 来年度末に完成を目指す。遊歩道の幅は約1・5メートル、勾配があるとこころは擬木を使い階段を設置予定。瀬田地区や森地区の店舗もあるため、そのあたりを利用し活性化につなげたい。

岩戸溪谷遊歩道
周辺を巻き込んだ
利活用



岩戸神社

教育・子育て・福祉を所管する 文教厚生常任委員会

デジタル活用で利便性・ 安全性向上

● 雷探知警報器とは、どういったものか。また、どういった使い方を想定しているのか。

● 約40キロメートル以内の雷放電を捕捉し、警報を3段階レベルで発出する機器。各校に職員室用と予備用の2台購入予定。全国的に学校行事や部活での落雷事故がある中、屋外活動や行事に携行することで事故予防として活用する。

雷探知警報器とは



雷探知警報器

● 電子母子手帳とはどのようなものか。現在使用している紙の母子手帳は継続して使うのか。

● スマートフォンのアプリで母子手帳の内容を入力、保存できる。妊娠から月齢に応じた町からのお知らせや、予防接種の時期が個別に通知され、接種漏れを防ぐなどの導入メリットがある。紙の母子手帳と併用し、補完的に活用する。国は本年度中にガイドラインを策定予定。

電子母子手帳とは



委員会レポート

総務常任委員会



楽善防災倉庫

総務委員会・経済建設委員会・文教厚生委員会の3つの委員会があります。議員は必ずいずれかの委員会に属しています。本会議にて各委員会に委ねられた議案は委員によるさらに深い審議を経て、委員長が議会で報告します。

経済建設常任委員会



(仮称)大津北部工業団地整備事業

文教厚生常任委員会



総合体育館

町の安心と運営を支える 総務常任委員会

暮らしと地域に寄り添う 制度と予算の工夫を



ホテルのイメージ写真

● 宿泊税は「何にでも使える税」と住民が誤解しないよう、使途目的を明確にすべきである。今回はその検討のための外部委員会設置条例だが、内部検討会で具体的な活用案はあるのか。

● 内部検討会では複数課が協議し、宿泊税の活用事業として、多言語案内表示の整備、用水路など観光資源の保全、文化施設の修復、スポーツコミッションの推進、駅と宿泊施設間の移動体系整備などが検討されている。

宿泊税を地域に還元するには
活用案の具体例を問う

● 給食で防災食を提供することで、子どもたちの防災意識を高めることができるのではないかと。

● 給食で防災カレーを出す計画があり、非常食の家庭配布も行っている。今年も可能ななら配布を行う。

● 意見 給食で実際に食べることが防災教育になる。熊本地震の発生日に合わせた実施も提案したい。

熊本地震の教訓を食卓に
防災食を給食で
実施する意義



町が備蓄している非常食の一例

Q 更に利便性がよくなる運営を

A 利便性の向上させる研究を行う



千円札と硬貨しか利用できない精算機

その他の質問

- ・町にゆかりのある方への支援のあり方について

たしろ げんき
田代 元議員



Q 庁舎駐車場はコインパーキング方式を採用しているが、収入に対してランニングコストなどの経費が利用料収入を大きく上回っている。

A 精算機についても高額紙幣やキャッシュレス決済には対応しておらず、精算時に苦慮する利用者も多いと聞いている。また、雨天時には車内に雨が入ってきたり、濡れて駐車券が読み取れないなどの事案も発生している。

赤字だから設備投資を控えているとの説明があったが、赤字だからこそ利便性を向上させるべきであると考えます。

赤字だから設備投資を控えているとの説明があったが、赤字だからこそ利便性を向上させるべきであると考えます。

赤字だから設備投資を控えているとの説明があったが、赤字だからこそ利便性を向上させるべきであると考えます。

Q 熊本空港の飛行機の騒音と事故の対策を

A 騒音測定器の増設が可能か検討をしたい



騒音測定器設置の3カ所

その他の質問

- ・大津町運動公園へのアクセス改善を検討すべきでは
- ・近年の自然災害や火災時に聞き取れない防災無線の改善策を

やまもと ふじお
山本 富二夫議員



Q 昨年の6月定例会一般質問で飛行機の騒音問題をしたが、町から騒音対策をしたと言う話は聞かない。

A 空港周辺の住民は騒音や最近の自衛隊ヘリの事故など心配している。また、飛行機の墜落事故や部品落下なども心配である。

一般質問をするにあたり、現地の騒音を数時間聞いた。岩坂区・中島区の住民は年中騒音の増設を訴えている。町独自の騒音測定器の増設をすべきだ。

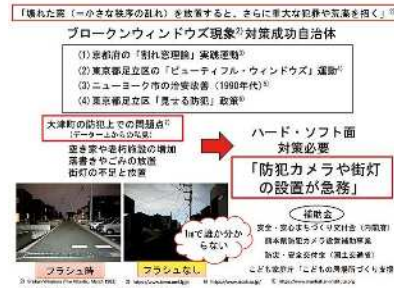
空港周辺の小中学校の中で南小中学校の騒音が特に酷い。改善が必要だ。

騒音測定器の増設が可能か国県関係機関と協議調整を行い、地元住民の声を踏まえた騒音対策に取り組む。

今後、南小中学校の再整備計画をしており、その際には、補助金などを調査して快適な学習環境を整備する。(教育長)

Q 大津町の防犯対策について

A 予算を倍増し、防犯カメラを推進する



おおつか かつじ
大塚 勝二議員



Q 小さな秩序の乱れを放置すると、さらに重大な犯罪や荒廃を招くと言われており、大津町は軽犯罪が増加傾向にある。先日は、不審火による火災もあった。大津町の問題点では、空き家や老朽施設の増加、空き家ごみの放置、街灯の不足があり、町民からも改善の要望がある。

A 他自治体で防犯対策の成功事例があるが大津町の防犯対策を問う。

防犯カメラや街灯の設置が急務。

町内に設置されている防犯カメラは、地域団体・公共施設を含めて合計120台。

現時点では町としては補助はしない。(総務部長)

その他の質問

- ・大津町の防災対策について
- ・肥後大津駅周辺のまちづくりについて

Q 将来を見据えた給食体制について

A 将来的にはセンター建て替え



給食比較

さんのみや みか
三宮 美香議員



Q 現在一カ所のセンターで町内全域の給食を一括調理している。センターは改修はされたものの一施設に負担が集中しており、増設や分散化は見送られてきた。大規模センター特有の揚げ物の制限や搬送距離の長さ、災害時のリスク集中などの課題がある。他にも品数の少なさやデザートがほしいなどの声も聞かれる。センターのキャパの問題もあるが、町の認識と将来的な給食の在り方をどう考えているか。

A センターは平成2年に建設され平成30年に一定の改修を行い衛生面の改善や作業動線の最適化に努めてきた。築35年が経過し、老朽化や作業環境の課題が顕在化している。今後少子化などにより給食数がピーク時より減少傾向にあるため、分散化は行わず一カ所のセンター方式とする。ただし、老朽化への対応は避けられないため、将来的には建て替える方向で検討。(町長)

その他の質問

- ・通学路および生活道路の安全点検について
- ・老朽化空き家への対応と行政代執行の可能性について

Q 物価高対策について問う

A 支援のさらなる充実を進めていく



やまべ りょうじ
山部 良二議員



Q 玉名市で行われている重層的支援は、保護係・生活支援係・消費生活セクター・フードバンクという構成である。相談内容に応じて連携・早期対応が可能。同じ課題で生活保護申請・食糧支援・消費生活セクター対応などができる。また玉名市の街中にみんなの冷蔵庫があり、十八歳までの子どもがいる人や一人暮らしの学生が登録し、みんなの冷蔵庫から食料品などを受け取れる内容である。本町でもこのような重層的な支援が必要ではないか。

A 今回、議員から紹介のあったみんなの冷蔵庫の事例については、社会福祉法が主体となり市と連携し、事前登録制により平日9時から18時まで常時開設されている。利用者にとって利便性が高く、これを認識している。だが、現時点では常設型の導入は難しい。今後は町で実施しているフードドライブの開催時期や頻度の見直しを検討するとともに、町内企業や関係団体との連携強化を図り、支援の充実に努めていく。

(町長)



【上】玉名市くらしサポート課
保護係・生活支援係・消費生活
セクター・フードバンク
【左下】玉名市の社会福祉法人が
行っている
「みんなの冷蔵庫」
※自分の家の冷蔵庫を開けるように
必要な時に必要な分だけ。いつでも気
楽に食べ物を取りに行ける。

その他の質問

- ・優いまちづくりについて
- ・肥後大津駅前周辺まちづくり基本構想について

Q 阿蘇くまもと空港周辺地域の騒音対策について

A 地域住民の声を集約し要望していく

おおつか ますお
大塚 益雄議員



Q 阿蘇くまもと空港は現在、国内線は8路線・140便が、国際線は週39便が離発着している。特に離陸時の騒音は最大であり、その経路の直下に位置する大津町は騒音の影響を大きく受けている。私たちの日常生活において、「会話が聞こえない」「テレビの音が聞こえない」という事象は誰もが経験している事ではないか。航空機騒音の環境基準については、全地点達成している中において、再度騒音調査すべきではないか。また、運用時間の厳守について、重要であり、監視すべきだ。

A 航空機騒音については、航空機騒音防止法に基づき騒音対策事業を実施している。熊本周辺市町村から推薦を受けた住民代表で組織する空港周辺協議会や大津町の飛行経路にある地域住民の19区の区長、町および県で組織する空港周辺協議会大津支部があるため、その中で環境整備事業や地域住民の要望および関係機関に対し要望を行って行く。

(町長)



阿蘇くまもと空港

その他の質問

- ・大津駅南側の駐車場について

Q 地下水位の収支予測に基づく町づくり計画を

A 中長期的な将来予測について県に伝える

いわした けいし
岩下 啓史議員



※熊本サイエンスパーク推進ビジョンより抜粋

Q 空港アクセス鉄道の中間駅周辺の開発は、熊本サイエンスパーク構想の一環として検討中である。開発予定の農地は、地下水涵養の観点から一番大事な涵養域だ。中間駅周辺の開発計画の詳細と町内全体での企業開発予定面積を明らかにすべきた。熊本県の地下水将来予測の信頼性は薄い。熊本県に20年先までの将来予測を行うように町から要請すべきではないか。そのデータを元に、企業誘致や開発などをしっかり規制していく必要があるのではないか。

A 現在、大津町では8件、約4・9万㎡の開発面積がある。中間駅周辺の開発は、まだ位置も決まっていないため具体的な方針は定まっていない。中間駅周辺の整備は、雨水が地下へ浸透しやすい透水性、排水性舗装や浸透式調整器の導入のための研究を行っている。また、矢護川開場整備、農薬団地の整備など、大地を守ることで水を守ることもつながる施策も進めている。20年先の中長期的な将来予測やビジョンの必要性について熊本県に伝える。

(町長)

その他の質問

- ・地下水を守るための施策の充実を

Q 地域のリーダーや住民へ火災時対応の周知を

A 自主防災組織などへ周知していく

きよはら さおり議員



Q 現在の自主防災組織では、地震や風水害を想定した訓練が中心であるが、火災や落雷被害も身近な災害である。消火訓練や水利の確認・防火講話・救命救急体験などを通して、地域の防災意識を高める訓練と、火災時に地域住民がとるべき対応の周知が重要ではないか。また、各団体から知見をいただき、協議し、各地区が策定する自主防災組織の防災計画に盛り込むべきではないかと考える。なぜ、このような

A 組織や活動が大事なのかなど、重要なことは明白く、町として示していくことが大事ではないか。

A 地域の特性・状況に応じた防災計画の策定や訓練を支援し、消防署や関係機関と連携して地域に根ざした防災力の強化に努める。また、地域のリーダーに迅速に連絡できるような体制を検討していく。今後は、火災や落雷被害も想定し、対応力向上に資する訓練や周知に取り組んでいく。

(町長)

その他の質問

- ・ゾロ像×剣道文化で町を盛り上げよう

Q 子どもの権利を保障する「こども条例」の制定を

A 子どもを真ん中に、引き続き検討する

〈なぜ今、大津町で「子ども条例」が必要なのか〉

- ・令和5年度（大津町）虐待相談件数：216件
- ・令和6年度（大津町）不登校の児童生徒：208人
- ・外国にルーツを持つ子どもたちも増加中
- ・町長は「子育て支援・教育環境 日本一」を掲げている
- ・令和6年度から「子どもをまんなか」を理念に掲げた「大津町こども計画」を策定

一方、子どもの権利については周知できていない

〈今、必要なことは？〉

“子ども条例”として明文化し、町の姿勢を示すことが必要

〈大津町のこども参画についての懸念点〉

- ・様々な背景を持つ多様なこどもが参画できているのか？
- ・こどもが本音を言える取り組みができているのか？

〈大津町令和6年度ニーズ調査〉

こどもを見てもらえる環境について

（対象：就学前児童保護者・小学生保護者）

日常的、または緊急時に頼れる親族や友人・知人は居るのか？

→就学前児童の保護者 15.5%、

小学生保護者 17.4%が「いずれもないと回答」

なかやま
中山 直之議員



Q こども基本法の施行や、いじめ・不登校・ヤングケアラー・虐待など多様化・複雑化する子どもに関する課題を踏まえ、子ども施策を総合的に進める「こども条例」が必要ではないか。条例があることで、関係機関の連携や大人の意識啓発につながるだけでなく、教育や福祉に関わる大人たちの間にも、子どもの権利保障に向けた行動の方向性が明確になる。子ども自身の声がまろくりに活かされる仕組みにもつながる。町として、こども条例を制定する考えはないか。

A こども基本法や大津町子ども計画の内容を踏まえ、子どもの権利を保障する取組を進めている。条例の制定については、他自治体の動向も注視しながら、子どもの意見表明や参加を制度的に保障するあり方を検討している。条例によって関係機関の役割が明確になり、連携が促進される意義もあると考えており、今後、地域や関係者との対話を重ねながら研究・検討を進めていく。（町長）

どうなった？ あの質問の行方



過去の一般質問や委員会審査で議員が行った町への提案が、実際にどのように町政に反映されているのかを追跡調査してお知らせします。



令和6年3月定例会

質問

大津町はビジネスホテルなどの宿泊施設が多い、新たな財源で更なる魅力化を行うため、宿泊税を導入する考えはないか。

答弁

宿泊税の導入について検討委員会を交えて議論し検討を深めていきたい。

令和6年6月から12月にかけて役場関係課による検討委員会を6回開催

令和7年6月定例会にて「大津町宿泊税検討委員会設置条例」を制定

宿泊税の導入目的の妥当性、使途、課税対象の範囲などを含め多様な視点で客観的に検証する必要がある、有識者による外部検討委員会を設置し更に検討を進める。

Q 町内の商工業者に対する対策及び支援

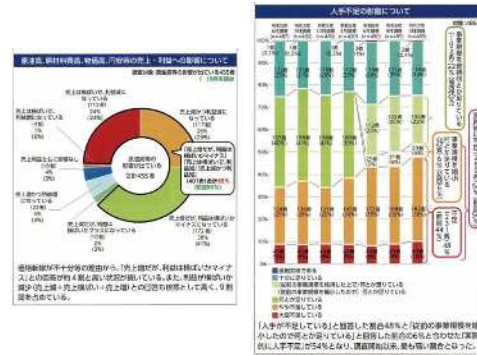
A 商工会、活性化会議、企業連等意見を聞き施策を進める

にしかわ
面川 秀貢議員



Q TSMC関連進出の波及効果は限定的である。中長期的支援も必要だが、現在の状況として、地価高騰、物価高、人手不足問題と尋常ではない。事業者が、継続していくためには、家賃補助、事業継続に対する給付、雇用の補助、固定資産の減免など、直接的支援も必要ではないか。町は事業者の現状を真剣に考えているのか。事業者に対する町の姿勢が感じられない。

A 町としては、これまで、急激かつ一時的な経済的ショックに対し直接的支援を適時実施してきた。今回の子育て支援商品券などは、地元業者に恩恵が得られるよう設計した。今後は人手不足に対応する為の事業者に対する支援を検討、中長期的な本質的対応を進める事が極めて重要である。（町長）



その他の質問

- ・令和7年度終了の創業支援補助金の方向性

Q 大津南小学校の建替えの進捗について

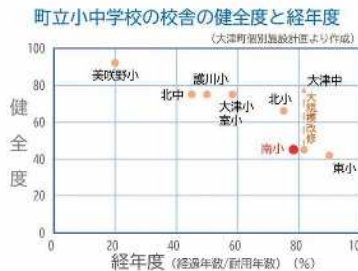
A 令和9年・10年の工事着手が目標

さとう
佐藤 真二議員



Q 南小学校の建替えは、以前から早期の実現が求められている。個別施設計画では令和9年・10年に建替え（校舎）することになっている。しかし、建替えに先立って行われるべき、場所・校区見直しの協議・議論がまったく進んでいない。

A 校区も改めて検討を要する時期にあると考えている。できることから迅速に取り組み。（町長）
A しかるべき時期に通学区域及び教育施設検討委員会を設置する。大津小学校のマンモス化を抑制する意味でも、通学区域の課題も整理する必要がある。（教育長・教育部長）
老朽化で、いつ誰かがをしてもおかしくない状態と認識している。令和9年・10年の建替えは、本来に約束であってほしいと願う。



その他の質問

- ・3月議会の一般質問での宗教等に対応する給食に関する答弁について



弔辞 大塚龍一郎議員

5月22日 大津町議会一同

大塚議員は、平成9年の初当選以来、20年以上にわたって町政の中核を担い、多くの要職を歴任されました。とりわけ、平成25年からの4年間は議長として議会を牽引され、そのリーダーシップと献身的な姿勢は、今なお多くの議員の記憶に深く刻まれています。

平成28年に発生した熊本地震に際しては、連日のように災害対策本部へ足を運ばれ、役場執行部と密に連携を取りながら、町民の安全と安心のために尽力されました。そのお姿は、まさに町を守る「砦」として、多くの人々に勇気と安心を与えてくださいました。

また、平成27年には、議会だよりの充実を目指し、尚綱大学との連携協力協定を結ばれるなど、町議会の情報発信の在り方にも先進的な取り組みを推進されました。今日の大津町議会だよりの礎は、大塚議員の努力によるものであり、県内外からも高い評価を受けるに至っております。

地元である大津町の小中学校を卒業され勉学のために上京されましたが、再びふるさと大津町へ戻り、町民のために尽力された人生でした。議員としての活動だけでなく、幼少期から親しまれていた野球を通して、大津町軟式野球協会の会長としてもスポーツ振興に取り組まれました。晩年には、小学生の登校時に見守り活動を行われるなど、町の未来を担う子どもたちへの温かい眼差しを最後まで持ち続けておられました。

また、文化財保護への関心も高く、国指定重要文化財である江藤家住宅についても一般質問を通して取り上げられるなど、大津町の歴史と文化への深い理解と愛情を持っておられたことが印象に残っています。

今議会だよりに記されるはずだった「持続的発展へ地域の想い果たす」というお言葉には、大塚議員がこの町の未来をどれだけ真剣に考えておられたか、その想いが凝縮されています。

昼休みに奥様の手作りのお弁当をおいしそうに召し上がっていたお姿、ニュースの話題について後輩議員に分かりやすく解説されていたお姿、そして、議会だよりにいつも目を通し広報委員長へアドバイスをされていたお姿、決して忘れることはできません。

大塚議員が残された多くの功績と、町への深い愛情は、今後も私たち大津町議会議員全員がしっかりと受け継ぎ、より良き大津町を築いていくために尽くしてまいります。

大塚龍一郎議員、本当にありがとうございました。

どうか安らかに眠ってください。

心よりご冥福をお祈り申し上げます。

議会改革推進 都市計画等調査 特別委員会を設置

現在の町や議会の大きな課題に、議会として重点的、効果的に取り組むため、2つの特別委員会を設置しました。

議会改革推進特別委員会

令和3年の町議会議員選挙が無投票となったことを受け、**議会活性化**特別委員会を設置し、「議員のなり手不足」対策に取り組み、今回選挙では一定の成果を得ることができました。

その反面「議会の見える化」などの取組については、課題も残っています。

これから、さらに「議会の見える化」や「議会機能の充実」を進めるため、**議会改革推進特別委員会**を設置します。



委員長	佐藤 真二
副委員長	三宮 美香
委員	西川 秀貢
	清原 さおり
	岩下 啓史

都市計画等調査特別委員会

現在、町では「都市計画マスタープラン」や「立地適正化計画」など、まちづくりの重要な計画が策定されています。

こうした計画は、町の将来像と同時に、現在の行財政に大きな影響を与えるもので、議会としてしっかりと理解する必要がありますが、通常の活動では十分な対応ができません。

こうした計画等について詳しく説明を受け、意見を述べる場を設けるため、**都市計画等調査特別委員会**を設置します。



委員長	大塚 勝二
副委員長	大村 裕一郎
委員	大塚 益雄
	時松 智弘
	村山 龍一

用語解説

- 特別委員会 2つ以上の常任委員会の所管にわたる事件や、特に重要な案件で集中的に審査するために設置する委員会。委員会条例に基づき、必要がある場合において、議決を経て設置することができます。
- 都市計画マスタープラン 将来のまちの姿を見据え、暮らしやすく、持続可能なまちをつくるために、都市の将来像や土地利用、交通、公共施設整備などの方向性を示す、市町村が定める「まちづくりの基本方針」です。
- 立地適正化計画 居住機能や医療・福祉・商業、公共交通等のさまざまな都市機能の誘導により、都市全域を見渡し、持続可能な都市構造を目指す包括的なマスタープランです。

尚綱大学生との意見交換会報告

5月23日(金)、大津町議会広報編集特別委員会の委員5人が、熊本市中央区九品寺にある尚綱大学を訪れ、現代文化学部1年生の21人と意見交換会を行いました。

冒頭では、大村広報編集特別委員長が大津町および町議会の概要を、スライドなどを用いて説明。その後、学生の皆さんから寄せられた質問に答えました。以下はその一部です。

Q: 多くの企業が進出し、建物が增える一方で、畑や山林が減っていると感じます。空き地で遊ぶのが好きだったので少し寂しい気持ちがあります。環境保護の観点から、議員の皆さんはどのように考えていますか。

A: 議員として、また町民としても強く問題意識を持っています。農業や林業などの一次産業は守るべき重要な分野です。何よりも、地域住民の皆さんとの対話を重ね、多角的な視点から議論を進めていくことが大切だと考えています。

Q: SNSなどで情報が氾濫する時代です。便利な反面、フェイクニュースやデマもあります。どのように見極めるべきだと考えますか。

A: 以前から、個人が発信する情報には真偽不明なものもありましたが、今はそれが広く拡散されやすい時代になりました。重要なのは、情報をすぐに鵜呑みにせず、拡散せず、出所や根拠を確かめる姿勢です。なお、「議会だより」は行政職員も確認しており、多くの目を通した信頼性の高い情報です。情報を見極める力を養うことが大切だと思います。

Q: 多くの意見や要望が寄せられる中で、優先順位はどのように決めているのですか。

A: たとえば「道路の陥没がひどい」といった相談を受けることがありますが、対応には予算が必要なものも多いです。現場を確認し、地域の区長さんなどと連携しながら、必要性の高いものから進めています。

Q: 「議会だより」の写真の画質が粗いものがあります。ある程度、統一した方が良いのではないのでしょうか。

A: ご指摘ありがとうございます。写真データが手に入らず、スキャン画像を使用することがあります。今後はできるだけデータでの入稿を徹底していきたいと考えています。

最後に、大村委員長が「皆さんの地域の『議会だより』も、ぜひ関心を持って読んでみてください」と挨拶を述べました。質疑応答は多岐にわたり、たいへん有意義な意見交換となりました。

大津小学校6年生 出前講座で議会を学ぶ

7月4日(金)、大津小学校6年生の4クラス・計133人が出前講座の一環として大津町議場を訪れ、議会や議員の役割について学びました。

はじめに、議会事務局職員がスライドを使い、時折クイズを交えながら、議会や議員の仕組みについて分かりやすく説明。その後、職員が町

長役を務め、模擬採決が行われました。

「学校のすべての水道の蛇口からジュースを出す」「長期休みの宿題をなくす代わりに、平日の宿題を2倍にする」「月曜から土曜まで登校する代わりに、毎日4時間授業にする」など、学校生活に関わる模擬提案が町長役から提示されました。

児童からは「ジュースは1種類だけでいいですか?」「歯みがきの時もジュースですか?」といった鋭い質問が飛び出し、町長役の職員が返答に困る場面も。質疑の後は賛成・反対の討論が行われ、最後に実際の議員と同じボタンを使って採決が行われました。結果が発表されると、議場には歓声が響いていました。



質疑や討論の時間では、活発に意見が交わられていました。



実際に採決ボタンを押して賛成・反対を表明しました!

若者の視点

尚綱大学生によるレポート 37

大津町議員との意見交換会を終えて

尚綱大学現代文化学部1年生と大津町議会広報編集委員と意見交換会を行いました。1年生の学生は日頃議員や政治と接する機会がありませんでしたが、今回3人の新人議員を含む議員5人からさまざまな話をうかがい、政治との距離が一気に縮まりました。

以下学生の声を抜粋し紹介します。



現代文化学部
1年
きやま
木山さくらさん

普段議員の方々がどういったことをしているのか知る機会が少ないので、今回の話し合いでとても貴重な経験ができました。

また女性で出産経験のある方や、幅広い年代の方々が議員として活躍されていて、色々な立場や観点から問題解決に取り組まれているんだと思いました。

お話を聞いたり大津町議会だよりを読んだりして印象に残ったことは、地域の活動でポイントがもらえる「水水ポイント」があることと、闇バイトを防ぐにはというお話です。私は大津町に住んだことがないので「水水ポイント」の存在をまったく知らなかったのですが、調べてみたところ、道路を清掃したりボランティアをすると活動した時間によって地域通貨と交換できるというもの、町内のスポーツジムなどで使用できるそうです。

このような取り組みは、小学生がボランティアに興味を持つきっかけにもなり、高齢者が地域とのつながりをもつことができ、健康的な生活が送れるなどさまざまな良い影響があると思います。ぜひ熊本県全域で実施してほしいと思いました。



現代文化学部
1年
みやもと ゆみ
宮本佑美さん

私は、大津町の議員の皆さんのお話を聞いて、印象に残ったことが2つあります。

1つめは、大津町議会だよりへのこだわりについて。前のものと比べて、文字量が少なくなり写真やイラストが多くなっていたり、QRコードを活用して本会議の動画を見られるようにするなど、見やすく、分かりやすくなっています。議会だよりで議会のことを地域の方に「見える化」するためにさまざまな工夫が凝らされています。

2つめは、仕事内容について。私は、今まで議員とは会議をするだけの存在だと思っていましたが、実際議員の方は現場に足を運んだり、地域の方々の相談や要望を聞いたりするなど、幅広く活動されていたことを知りました。

また、議員の方の自己紹介における「なぜ議員になったのか」というセッションで、大津町をよりよくしたいということを共通しておっしゃっており、実際に大津町のためにさまざまな尽力されていることが分かり、地域の方々にとって議員の皆さんはとても心強い存在なのだろうと感じました。今回の交流会で、議会について興味を持てたので、自分が住んでいる町の議会のことも調べてみたいと思いました。

議会を観ての生の声

6月定例会の傍聴者数のべ108人、ライブ配信再生回数821回 録画配信再生回数245回(7/15時点)

町を動かす現場を見た



こうろぎ としひろ
興梧 寿宏さん
(大津)

初めてオンラインで議会を傍聴しました。

最近目まぐるしく変わる大津町の状況を議員の皆さんがどのように考えてられるのか気になったこと、また、普段お世話になっている方が議員になられたことが傍聴のきっかけです。

SNS などでは、意見がまとまらず行政が立ち行かなくなるような話も見聞きすることがありますが、大津町議会では、町民の暮らしを良くするために真剣に話し合われていることが伝わってきました。

これからも町長はじめ、議員の皆様や役場の方々が町民のために尽力してくださることで、今以上に暮らしやすく良い大津町になると思います。

大津町の環境や地下水を守ってほしい



あらき さちこ
荒木 幸子さん
(高尾野)

6月11日議会傍聴をしました。TSMCが来てから地下水や環境が心配で傍聴にきました。私は結婚して埼玉県所沢市から30年前に大津町にきました。所沢では、子どものアトピーがひどかったのですが、大津町にきて半年でよくなりました。熊本の空気と水道水が美味しいからだと思います。

最近の大津町は環境の変化や地下水がとても気になります。一般質問の中で「熊本県は地下水の将来予測を5年先まで」しか示さないそうですが、「長期的に20年先まで将来予測は必要」との一般質問に金田町長が「県に20年先まで長期的に見ていくよう要請していく」と言われました。ぜひ強く県に要請していただきたいです。よろしくお願いします。

次回定例会は

9月2日(火)開催予定

(日程は変更になる場合があります)

日程 9月2日(火)～22日(月)(予定)

会場 庁舎 4階 議場

議会広報編集特別委員会

編集(委員長)大村 裕一郎 (副委員長)清原 さおり
(委員)三宮 美香/村山 龍一/中山 直之

発行責任者(議長)坂本 典光

令和7年8月1日 第112号 発行/熊本県菊池郡大津町議会
編集/議会広報編集特別委員会 印刷/株式会社キャップ

〒869-1292 熊本県菊池郡大津町大津1233 ☎(096)293-8989

●●●● 編集後記 ●●●●

▼例年より梅雨が短く、暑い毎日が続いていますが、みなさまいかがお過ごしでしょうか。熱中症に十分気をつけ、お身体ご自愛いただき、暑い暑い夏を乗り切ってくださいませようお祈り申し上げます。▼今回初めて、議会だよりのウェブアンケートを実施することになりました。以下の二次元コードをスマートフォンなどで読み取っていただき、設問に答える方式でいつでも簡単に送信することができます。ぜひお気軽にアンケートにお答えください。いただきましたご意見を参考に、誌面の更なる充実に取り組んでまいりたいと思います。

(清原)

